

埋文にいがた

MAIBUN

新潟県埋蔵文化財センター

MAIBUN
NIIGATA

2019 June.

第107号

発掘調査
整理遺跡
紹介

催事紹介 親子考古学教室 少年少女考古学教室



トルの方形の建物です。礎
角を割ってリサイクルした
角はハリギリの木を割り貫
立派なものです。

長さ4.8メートルの独立棟持柱を持つ
建物です。棟持柱は建物の内側に納め
ています。側柱は太木から丸く削り出
した手の込んだものです。

風溝を持つ大型建物・礎板



石地は建物一辺に敷かれ、下層に土層が
見とれており、最大幅約10
メートルです。柱には地中深く埋
まされ、大まかに削り出された
ものと見られます。



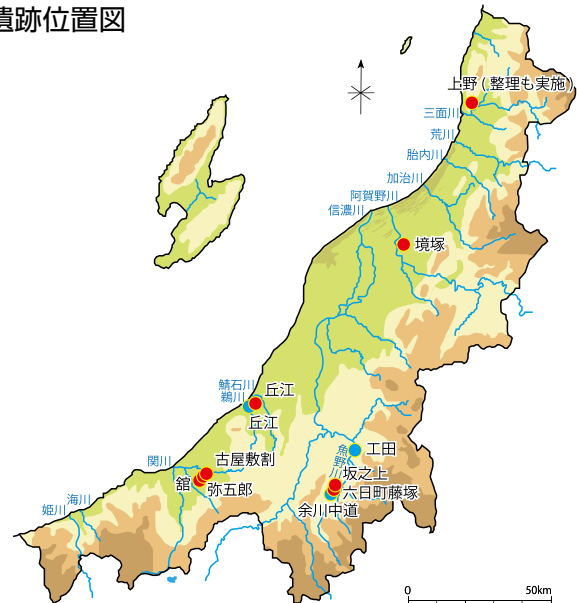
石地は建物一辺に敷かれ、下層に土層が
見とれており、最大幅約10
メートルです。柱には地中深く埋
まされ、大まかに削り出された
ものと見られます。



平成31年度 本発掘調査遺跡・ 整理遺跡の紹介

平成31（2019）年度は、本発掘調査を村上市上野遺跡（6月着手）、阿賀野市境塚遺跡、柏崎市丘江遺跡、南魚沼六日町藤塚遺跡、坂之上遺跡、上越市古屋敷割遺跡、弥五郎遺跡、館遺跡（9月ごろ着手予定）の7遺跡、整理作業を南魚沼市余川中道遺跡、柏崎市丘江遺跡、魚沼市工田遺跡、村上市上野遺跡の4遺跡について実施しています。

遺跡位置図



さかいづか あがのしもつ
境塚遺跡（阿賀野市百津）



中世と古墳時代の遺跡です。
中世の建物や井戸の調査が予想されます。

おかえ かしわざき たつか
丘江遺跡（柏崎市田塚）



中世と弥生時代後期の遺跡で上・中・下層3面調査です。水田跡など生産域調査が中心です。

むいかまちふじつか さかのうえ
六日町藤塚遺跡・坂之上遺跡（南魚沼市余川）



両遺跡とも古墳時代が中心ですが、中世・古代も存在します。古墳時代の祭祀遺構などの検出が期待されます。

ふるやしきわり じょうえつしきんわくかみひろた
古屋敷割遺跡（上越市三和区上広田）



中世・古代主体の遺跡です。
古代の集落跡の調査が特に期待されます。

やごろう じょうえつしきんわくこめこ
弥五郎遺跡（上越市三和区米子）



古墳時代の集落の調査が期待されます。

余川中道遺跡（南魚沼市余川）、上野遺跡（村上市猿沢）、丘江遺跡（柏崎市茨目）、工田遺跡（魚沼市大浦）



今年度は4遺跡の整理作業を進めています。余川中道遺跡（写真）は古墳時代中・後期の遺跡で、整理作業は昨年度から継続しており、今年度は報告書をまとめます。現在は、科学分析のサンプリング等を行っています。上野遺跡では、昨年度大量に出土した遺物の整理作業を行います。丘江遺跡・工田遺跡は昨年度調査した遺跡で、整理業務は調査を実施した民間調査組織に委託しています。中近世の集落や水田跡の調査成果を報告書にまとめています。



埋文 コラム

縄文の土偶

土偶は粘土から作られた素焼きの像で、地域や時期によって数に違いはあるものの、縄文時代を通じて作られ続けました。当時の人々にとって、生活する上で必要なものの一つであったことがわかります。しかし日常的に使用する道具（土器や石器）と異なり、その姿・形からだけでは使用方法や目的が容易に想像できません。一般的には縄文人の精神面（祈り・呪術・儀礼など）を反映した遺物と考えられています。また、その全身に施された文様などから、縄文時代の服装や髪形などを想像する手助けにもなっています。

土偶は女性的な特徴をもつ像が大半であることから、誕生・豊穰・再生などの崇拝対象として、いわゆる女神信仰（地母神信仰など）と合せて考えられる場合が多くあります。いずれも集落を長く繁栄させるために必要なことで、その想いを込めて祈りを捧げていたことが想像できます。その一方で土偶は自然界の霊的な存在を表したもので、性別は無いという意見もあります。狩猟・採集が生活の中心であった縄文社会では、食糧を安定して得ることやその間の無事故を祈る場面も

あったものと思われます。

煮炊きに使う土器の形や文様が時期や地域ごとに変化していくのと同様に、土偶もまた変わっていきます。縄文時代の長期間にわたって製作されているために多様な土偶が生み出されました。新潟県では前期から晩期の土偶が2000点以上見つっていますが、残念ながら壊れた状態で見つかることが多く、全身が残る例はほんの一部です。

写真1は糸魚川市六反田南遺跡から出土した中期の土偶で、ほぼ全形を知ることができます。ずんぐりとした体型、十字状にすぼまった口や小ぶりの目など、とても愛嬌のある顔をしています。写真2は村上市上野遺跡から出土した土偶で、明確な手・足はありませんが、これで完形品です。縄文時代後期の土偶ですが、こけし等のイメージに近く、全国的に見ても珍しい形をしています。底面には小孔があり、胴を深く貫き喉元近くまで達しています。上方を仰ぎ見るような姿勢で、頭の両側の突起は髪形と思われますが、見る人によっては狐の顔を連想するかもしれません。

（石川智紀）



正面

左横

裏面

写真1 六反田南遺跡の土偶



写真2 上野遺跡の土偶
（高さ6.7cm）



埋文 インフォ メーション

2019年度春季企画展

佐渡の王－蔵王遺跡－ 開催中

現在開催中の企画展「佐渡の王－蔵王遺跡－」では、新潟県指定文化財である佐渡市蔵王遺跡の弥生～古墳時代の出土品を展示しています。蔵王遺跡では権威や権力を誇示する「威信財」が見つかっています。最も注目されるものは、青銅器の内行花文鏡と珠文鏡です。内行花文鏡は8つの連弧文が巡るもので、その大きさは古墳から出土するものに引けを取りません。また、新潟県内で発掘された古墳時代前期の鏡は7面しか見つかっておらず、このうち2面が蔵王遺跡のものです。銅鍬やガラス製小玉も貴重なものです。木製品のなかにも権威を示す道具があり、威儀具と呼ばれます。翳形木製品は貴人の顔を隠すのに用いられたもので、新潟県内ではほかに弥生時代中期の佐渡市平田遺跡で見ついているのみです。舟や剣をかたどった木製品と鶏形土製品は、蔵王遺跡でさまざまな祭祀が行われていたことを示しています。桶や槽、曲物など多種類の容器もあり、良質なスギ材を使った精巧な作りからは、木工技術の高さとそれを利用した人々の権威をうかがい知ることができます。このほか、平鍬や堅杵といった稲作に関するもの、横槌などの工具、編台や糸巻具などの編み具など、さまざまな木製の生活用具が見つかっています。

掘立柱建物の柱は丸太材のほかに、大木から丸く削り出した手の込んだものがあり、礎板には大型の桶を割って再利用したものもあります。布掘り建物の柱は直径80cm以上の丸太材から削り出したものです。これらは格の高い建物があつたことを物語っています。部材には屋根材や垂木、母屋材、破風板など、当時の建物の構造を示すものが見つかっています。

蔵王遺跡の威信財や威儀具は、王の存在を裏付ける可能性があります。蔵王遺跡の展示品から、佐渡の歴史に思いをはせてみませんか。(荒川隆史)

◆ 期 日：令和元年8月25日(日)まで

◆ 会 場：新潟県埋蔵文化財センター

◆ 観覧料：無料



蔵王遺跡 内行花文鏡(直径10.5cm 写真提供:佐渡市)



木製祭祀具・威儀具(左長さ58cm 佐渡市蔵)



布掘り建物の柱(右上幅22cm 佐渡市蔵)



埋文
インフォ
メーション

開催ご案内

親子考古学教室

少年少女考古学教室

○親子考古学教室

親子で^{こうこがく}考古学を学ぶ教室を開催します。

「縄文土器や石器の観察と土器作り体験」

◆ 日 時：7月28日(日)

午前の部 9:00～12:00

午後の部 13:30～16:30

※午前・午後の内容は同じです

本物の縄文土器^{じょうもん ど き}を持ってスケッチをしたり、石の矢じりや石斧^{いしおの}などを観察します。土器作り体験(オープン陶土使用)では、縄文土器^{もんよう}をよく観察しながら形を作り、文様をつけます。作った土器はそのままお持ち帰りいただけます。また、見たことや分かったことを書きこんだワークブックは、夏休みの自由研究としてもお使いいただけます。

◆ 対 象：小学4年生～6年生と保護者
(午前・午後とも各回先着15組30名)
※要申込・定員になり次第締め切り

◆ 参 加 費：無 料

◆ 申込期間：7月1日(月)～7月26(金)

◆ 申込方法：参加児童・保護者の氏名・よみがな・学年・住所・電話番号、参加ご希望の回を添え当センターへお申し込みください



親子で土器作り



縄文時代の石器をさわる

○少年少女考古学教室

あなたも考古学者を目指そう!

学年や地域が違う仲間たちと交流しながら、土器や石器などに触れ、様々な体験活動をととして古代の人々の知恵や生活を学びます。

第2回「竪穴住居の観察とクルミ割り体験」

◆ 日 時：9月8日(日) 9:00～12:00

◆ 内 容：古津八幡山遺跡^{ふるつはちまんやまいせき}で竪穴住居を観察した後、木の実を採集し、クルミを石で割る体験をします。

※第2回は屋外での体験です。

◆ 対 象：小学4年生～中学3年生(先着20名)

※要申込・定員になり次第締め切り

◆ 参 加 費：無 料

◆ 申込期間：7月1日(月)～9月6日(金)



古津八幡山遺跡で木の実採集



古銭の拓本取り

◆ 申込方法：氏名・よみがな・学年・住所・電話番号保護者の氏名・当日の緊急連絡先を添え当センターへお申し込みください

【今後の予定】

第3回 11/10(日)

「石斧^{いしおの}体験と勾玉^{まがたま}作り体験」

申込期間：9月9日(月)～11月8日(金)

第4回 1/26(日)

「古銭^{こせん}の拓本取りと編み物^{たくほん}作り体験^あ」

申込期間：11月11日(月)～1月24日(金)

(葭原佳純)

○親子考古学教室 ○少年少女考古学教室 お申込み先：新潟県埋蔵文化財センター
電話：0250-25-3981 FAX：0250-25-3986 メール：niigata@maibun.net



県内の
遺跡・遺物
105

蔵王遺跡出土品222点

(平成30年3月23日 新潟県指定有形文化財(考古資料))

遺跡所在地：佐渡市下新穂・上新穂

遺物保管：佐渡市(佐渡市立新穂歴史民俗資料館・埋蔵文化財整理事務所)

佐渡市の蔵王遺跡は、国中平野のほぼ中央に位置し、国府川と大野川に挟まれた標高約10mの沖積地に立地する弥生時代中期後半(約2000年前)・弥生時代後期末葉から古墳時代前期前半(約1800～1700年前)の遺跡です。周辺には新潟県史跡に指定されている弥生時代中期後半の新穂玉作遺跡(遺物は国指定重要文化財)があり、ここが弥生時代中期後半から古墳時代前期の佐渡の中心地域であったと考えられています。

平成8～9年度の県営ほ場整備事業に伴う発掘調査では、堅穴建物や掘立柱建物、平地式建物といった多種多様な建物群が見つかりました。また建物群の南側からは、環濠とみられる3重の大溝(SD1・5・6)も検出され、蔵王遺跡は環濠によって区画された集落であることが判りました。

建物跡を見ますと柱や礎板、地中梁といった木製品を残すものが多いことが判りました。なかでも1号掘立柱建物(SB1)の柱穴から出土した礎板(図1)は、年輪年代測定の結果、西暦288年という暦年代が出され、加工で削り取られた年輪幅も加味すると、西暦300年前後に伐採された木材を礎板に使用したことが判りました。

また他の柱などの年輪年代測定結果も含め、蔵

王遺跡は弥生時代後期末葉から古墳時代前期前半に栄えた集落と判明しました。

遺物は甕や壺などの土器のほか、土製品や銅製品、ガラス製品、木製品などが出土しました。銅製品には内行花文鏡(p4写真)・珠文鏡・銅鏃があり、いずれも布掘り建物と呼ばれる、溝の中に地中梁を入れて、それに柱を乗せて組み合わせた特異な掘立柱建物であるSB5(図3)周辺から発見されていることから、建物と何らかの関係が窺われます。他に特筆される遺物として、県内最大級の平地式建物から出土した鶏形土製品(図2)やガラス小玉、環濠とみられるSD6からは儀式の際に貴人の顔を隠したとされる翳形木製品(P4中段写真・右から3番目)があげられます。

このように蔵王遺跡は、弥生時代後期末葉～古墳時代前期前半という『魏志倭人伝』に登場する邪馬台国と同年代の佐渡を代表する遺跡であり、礎板や地中梁など当時の建物の基礎構造や建築年代が分かる建築部材、社会的な権威を示すために使われた遺物など、学術的価値の高い資料が見られることから、出土品222点が新潟県有形文化財に指定されました。

(佐渡市世界遺産推進課 鹿取 渉)



図1 SB1礎板検出



図2 鶏形土製品



図3 SB5検出(左右の溝に地中梁と柱が見える)



埋文にいがた 第107号

令和元年6月28日発行

発行 新潟県埋蔵文化財センター Niigata Prefecture Archaeological Research Center

指定管理者：公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

〒956-0845 新潟市秋葉区金津93番地1 TEL:(0250)25-3981 FAX:(0250)25-3986

E-mail: niigata@maibun.net URL: http://www.maibun.net/



『埋文にいがた』のバックナンバーは(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 HP でご覧いただけます。
上の URL からご確認ください。